

# 2022年度 ブラッシュアップ講座報告

研修部会委員 新潟青陵大学短期大学部 丸山 尚夫

3月22日、23日の2日間にわたりブラッシュアップ講座を開催しました。今年は4年ぶりの開催となりましたが、受け入れ先の要望もあり、いつもより少人数（13名）での実施となりました。今回は株式会社ゴールドウイン テック・ラボ、株式会社ランブール 本社／生産センター、丸井織物株式会社本社／七尾工場といった富山・石川県の北陸地域3社の施設・工場を見学しながら詳細な説明を聞くことができました。各社での見学の様子をご報告いたします。

## 株式会社ゴールドウイン テック・ラボ

会社説明の後、アーカイブ展示、3次元CAD、運動研究室、品質検査室、サンプル試作室、研修室などの研究開発拠点をくまなく見学させていただきました。アーカイブ展示では1950年代以降のアスレチックウエアの変遷とゴールドウインの技術の進化を垣間見ることができました。また、3次元CADや運動研究室を使用してアスリートのゲーム中の姿勢にあった立体縫製にこだわるところに、徹底したアスリートファーストの製品設計思想を感じました。ラグビー全日本代表の一人一人の体型、ポジションに合わせた素材選択とパターンニングにおけるきめの細かさ、それになんといってもラグビー選手の等身大マネキンの大きさは圧巻でした。



株式会社ゴールドウイン テック・ラボ

研修室では新入社員の研修とベテラン技術者の技術伝承の機能を有しており、ここでの研修で完成品を1人で生産できるまでの技術習得ができるようになってきているとのことでしたが、長年の技術を培ってきた地元のベテラン技術者が徐々に減りつつあり、技術伝承に不安があるとも説明を受けました。あらゆる種類の縫製機器類が揃っている感じで、壮観でした。

さらに特徴的なのは、リペアサービスを行うリペアセンターが併設されており、消費者から依頼されたあらゆる製品のリペアを一手に行っているとのことでした。このリペアサービスの依頼はここ数年で急激に増えており、大事に長く使用したいというユーザーの意識変化と、ゴールドウインの製品に対する信頼の現れであると感じました。また、このようなリペアサービスが行えるのは、設備面の充実と高度な技能を持った技術者が揃っているからとのことでした。

## 株式会社ランブール

高級ボディファンデーションの設計と生産の現場を見学することができました。ランブールで製造しているボディファンデーションはオール・メイド・イン・ジャパンにこだわった機能性下着で、大量生産や海外生産ではできないクオリティを追求しているとのことでした。女性スタッフによる商品開発・パターンメイクは女性ならではの感性が活かされ、研ぎ澄まされたデザイン感覚と積み重ねられたパターンメイク・ノウハウから商品が生み出されていました。ランブールのボディファンデーションはエステサロンなどの専門ルートから供給されることが多いので、価格帯も高級ゾーンであることもあり、本来のボディメイク機能だけでなく、素材やデザイン、製造プロセスにも惜しみなく手間暇がかかっている商品でした。まさに、女性のファッションもスタイルも美しくありたいという願いをかなえる魅力的な企業であると感じました。



株式会社ランブール 縫製場

## 丸井織物株式会社

社員教育に非常に熱心に取り組んでおられ、TESの受験者数、合格者数も多い企業です。ポリエステル、ナイロンの長繊維織物が主体、80%が委託加工とのこと。特にダウンウェア用途が全体の60%を占め、超薄地に特化した工場で、最も細い糸は7dtxまで扱っているそうです。それ以外にはエアバッグ基布、ポリ乳酸繊維を使ったティバッグ用基布、ガムテープ基布などの産業資材の生産とのことでした。織物準備の七尾工場と製織の本社工場を見学しましたが、工場内は自動搬送ロボットや綾取り、ドローイングなどに自動機を設置した最新鋭の織物工場というイメージでした。あらゆる場面でデジタル化が進んでおり、最終検査ではカメラ画像をAIで判断して自動検査を行うシステムに取り組んでいることが印象的でした。



丸井織物株式会社 本社工場

生機サンプルの試作システムも完備しており、最小8メートルの生地から生産でき、平均2週間での生機の生産と、グループ染工場との連携により30日間で織染め一貫サンプルが試作できとのことでした。

テキスタイルスタジオには6万点を超える素材サンプルがアーカイブしてあり壮観でした。商談の際には新商品イメージに近いサンプルを検索して、それを基に開発を進められるシステムが整備されていました。

今回見学させていただいた企業は、いずれも自社の強みをとことん活かしており、しかも日本国内で生産する意義を明確に感じることができました。

最後に、年度末でお忙しい中、親切でいねいに対応くださった、株式会社ゴールドウイン テック・ラボ、株式会社ランブール、丸井織物株式会社の皆様に厚くお礼を申し上げます。